TOTO

ウォシュレットEⅠ・EⅡ・EⅢ施工説明書

は　じ　め　に

このたびは、ウォシュレットをお求めいただき、まことにありがとうございました。製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

1.電気工事が必要な場合は必ず電気工事店に依頼してください。
2.商品にはお客様用として、取扱説明書（保証書付）を同梱しています。
3.取扱説明書中の保証書には、お買上げ店名又は工事店名及びお取付日を必ず記入してください。

安全上の注意

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

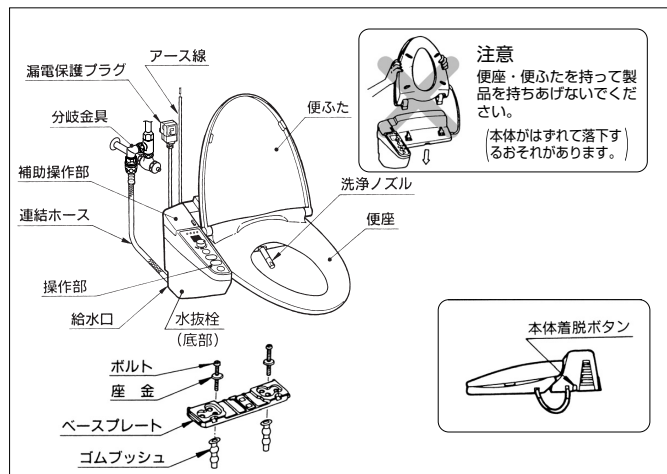
- 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。（火災や感電のおそれがあります。）
- アースは、D種接地工事（100Ω以下）を行ってください。（感電するおそれがあります。）
- 水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しないでください。（皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。）
- 漏電保護プラグを交流100V（50/60Hz）のコンセントに根元まで確実に差し込んでください。またガタついているコンセントを使わないでください。（感電や火災のおそれがあります。）

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。（漏水するおそれがあります。）

取付前の注意

1.電源は、交流100V（50/60Hz）、最大消費電力は570Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
2.電源コードの長さは1.0mです。コンセントは本体のコード取出し位置から0.6m以内の壁面に設けてください。
3.給水圧力範囲は0.05MPa～0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
4.給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
5.連結ホースの長さは0.97mです。給水取出し位置は、本体の給水口から0.7m以内に設けてください。
6.製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。

各部の名称

部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

仕　　　様

項目			内容
定格電源			交流100V　50/60Hz
定格消費電力			570W
1時間当たりの標準消費電力量※			32Wh（EⅢ）　31Wh（EⅠ・EⅡ）
電源コード長さ（同アース線長さ）			1.0m
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄	約0.4～1.1L/min（水圧0.2MPaのとき）調節可
		ビデ洗浄	約0.5～1.0L/min（水圧0.2MPaのとき）調節可
	吐水温度		温度調節範囲　約30～40℃
	ヒータ容量		500W
	タンク容量		1.0L
	安全装置		温度ヒューズ・温度過昇防止器 空焚防止フロートスイッチ
	逆流防止		バキュームブレーカー・逆止弁
温風乾燥装置	温風温度		約40～59℃
	風量		0.3m³/min
	ヒータ容量		350W
	安全装置		温度ヒューズ
暖房便座	表面温度		温度調節範囲　約30～40℃
	ヒータ容量		50W
	安全装置		温度ヒューズ
脱臭機能	方式		O_2脱臭
	風量		0.09m³/min
給水圧力			最低必要水圧：0.05MPa（流動時） 最高水圧　：0.75MPa
給水温度			0～35℃
周囲使用温度			0～40℃
製品寸法	洗落し便器用		幅516mm　奥行497mm　高さ280mm
	その他の便器用		幅516mm　奥行527mm　高さ280mm
製品質量			5.8kg（EⅢ）　5.6kg（EⅡ）　5.4kg（EⅠ）

※1日12回使用で年間平均にて計算しています。

取　付　方　法

1. 便器への取り付け

一般の便器への取り付け

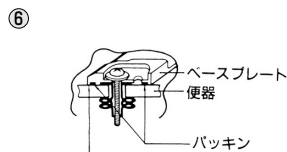
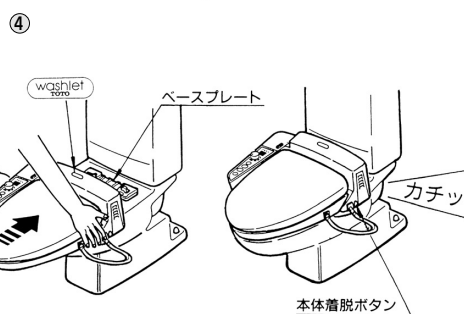
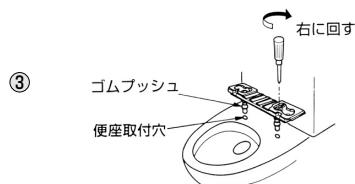
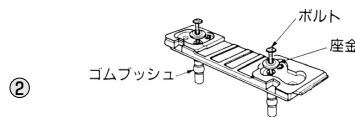
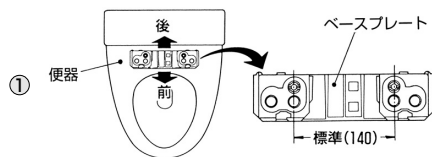
①ベースプレートの取付け方向を確認する。
- 前後と表示している面が表側です。
  前と表示している方を便器の先端側に向けます。

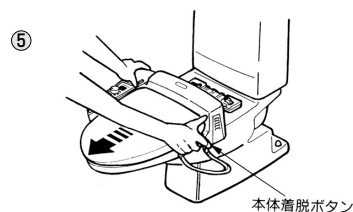
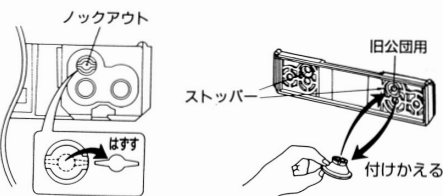
②ベースプレート表側から座金・ボルトを差し込み、裏側からゴムブッシュを3山程度ねじ込む。

③ゴムブッシュを便座取付穴に差し込み、上面からドライバーでボルトをかるく締めておく。
- ゴムブッシュの表面をぬらしておくと差し込みやすくなります。

④本体を取り付ける。
- 本体の washlet TOTO ラベルとベースプレートの中心が合うようにして、「カチッ」と音がするまで押し込むと位置が合わせやすくなります。

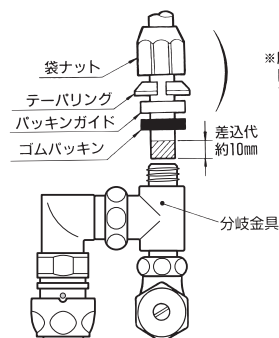
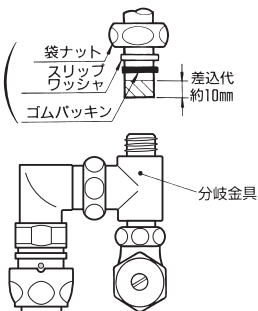
⑤本体がまっすぐに取付くことを確認し、いったん本体を取りはずす。
- 本体は本体着脱ボタンを押したまま手前に引くとはずせます。

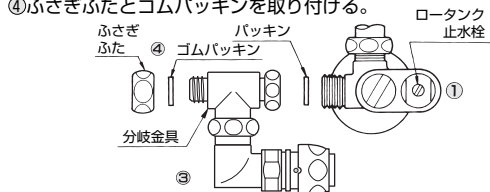
⑥ベースプレートが便器に当るまでボルトを本締めした後、再びウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまで押し込む。

旧公団用便器への取り付け

- 旧公団用の取付穴を使う場合はノックアウト部を取りはずしてください。
- ベースプレートについているストッパーを旧公団用の穴へ付けかえてください。

※本体を便器にセットした際、上下左右に若干のガタツキが発生します。
これは〈本体ワンタッチ着脱方式〉を行うために設けたスライド部のすき間によるもので異常ではありません。

2. 分岐金具の接続

一般のロータンクから取水する場合

①ロータンク止水栓を閉める。
②給水管を取りはずす。
③分岐金具を上図のようにロータンク止水栓に取り付ける。
④給水管を約10mmの差込代がとれる寸法に切り、接続する。

ワンピース便器から取水する場合

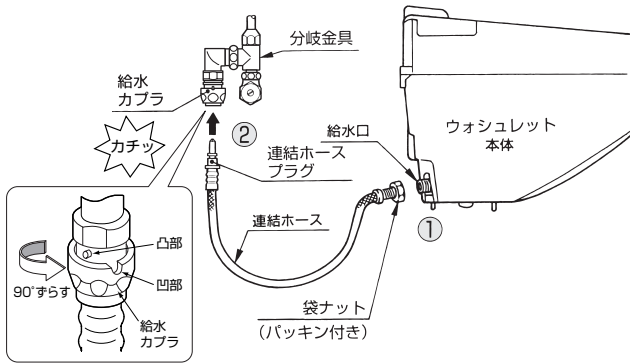
①ロータンク止水栓を閉める。
②ふさぎふたとゴムパッキンを取りはずす。
③分岐金具を下図のようにロータンク止水栓に取り付ける。
④ふさぎふたとゴムパッキンを取り付ける。

フラッシュバルブから取水する場合

フラッシュバルブから取水する場合は、別売品のTH484（フラッシュバルブの給・排水心120mm用）又はTH484-1（低圧フラッシュバルブ用）が必要となります。

右給水の隅付タンクから取水する場合

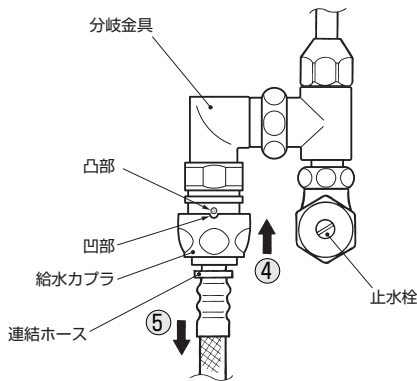
隅付タンクの給水が向って右側の場合は、連結ホースが短いので別売品のTCA58が必要になります。

3. 連結ホースの接続

連結ホースの接続のしかた

①ウォシュレット本体の給水口と連結ホースを接続する。
※袋ナットを確実に締めつけてください。

②分岐金具の給水カプラに連結ホースのプラグを「カチッ」と音がするまで差し込む。
※給水カプラの凸部と凹部を90°ずらしてください。

※本体の取り付け・取りはずしがスムーズに行えるだけのホースの余裕を確認する。

連結ホースのはずしかた

図は連結ホースの接続状態を示す

①連結ホース内の残水を受けるために、水受けを用意してください。

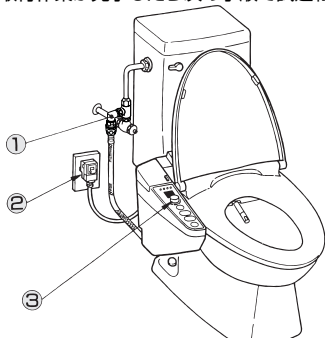
②止水栓を閉める。

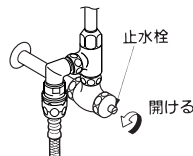
③ロータンクの水を流す。

④給水カプラの凹部と凸部を合わせ押し上げる。

⑤給水カプラを押し上げたまま連結ホースを引き抜く。

試　運　転

取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

1.水漏れの点検

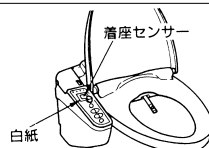
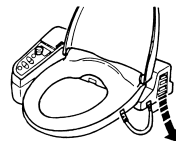
止水栓を開いて配管から水漏れがないことを確かめてください。

2.漏電保護プラグの確認

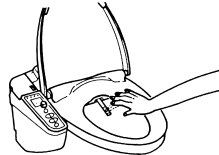
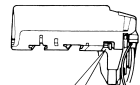
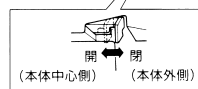
①漏電保護プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込んでください。
※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行っているか確認してください。
②漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。

切（テスト）ボタンを押すと切表示ランプが点灯し、入（リセット）ボタンを押すと消灯する動作が正常です。切表示ランプが点灯している状態では通電されませんのでテスト後は必ず入（リセット）ボタンを押してください。

（※漏電保護プラグを落下させてしまった場合などに切表示ランプが点灯する場合があります。入（リセット）ボタンを押してください。）

3.機能の確認

①着座センサーを白紙でおおう
（白紙でおおうと着座センサーが感知した状態になります。）

②脱臭機能を確認する（EⅡ・EⅢのみ）

● 本体の右側から風が出ていますか？

③洗浄機能を確認する

● を押すとノズルから適温の温水が吐水しますか？
吐水は手のひらで受けてください。
（温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約5分かかります。）

※ノズル左側の排水口から水が出るときは水抜きレバーを「閉」位置に移動させてください。

● を回すと水勢が変化しますか？
● 本体から水漏れはありませんか？
● を押すと止まりますか？

④乾燥機能を確認する（EⅢのみ）

● を押すと便座後方から温風がでていますか？
● を押すと止まりますか？

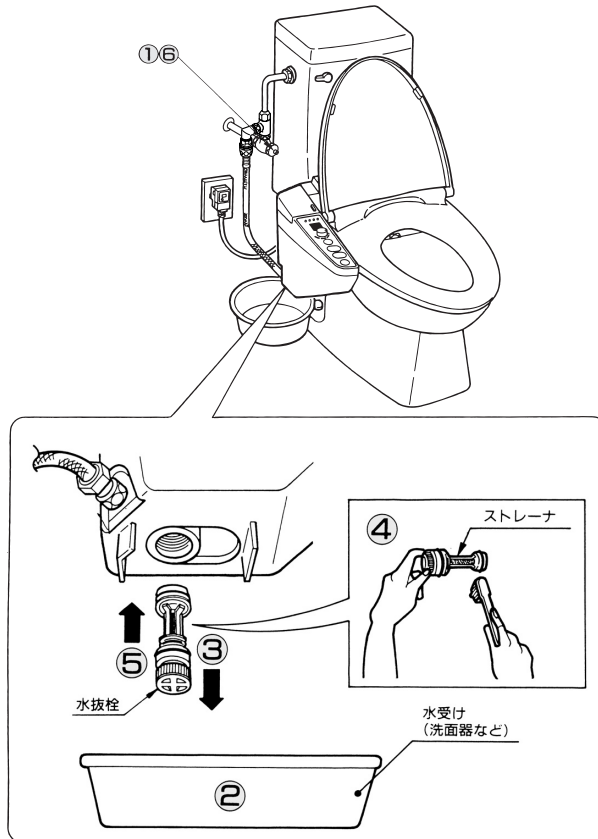
⑤暖房便座を確認する

● 便座があたたまっていますか？
（15～20分かかります。）

⑥着座センサーの白紙をはずす

● 着座センサーをおおっている白紙をはずします。

ストレーナの掃除

ストレーナに水あかやごみが詰まるとおしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。施工後は必ずストレーナを掃除してください。

掃除方法

①止水栓を閉める。

②水抜栓の下に水受けを置く。

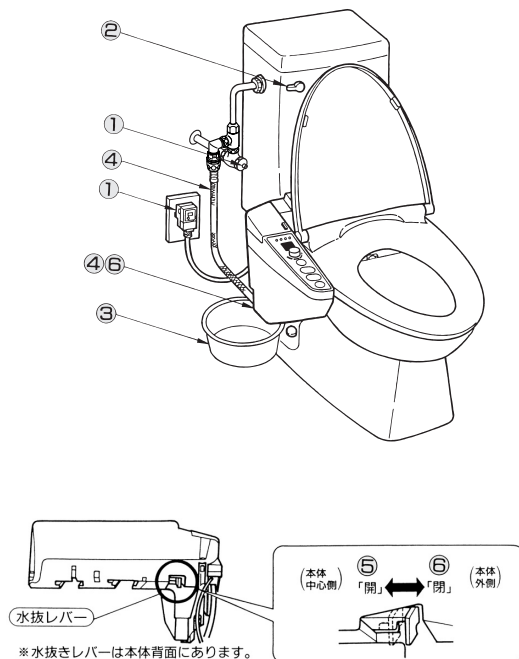
③水抜栓を手で左にまわしてゆるめた後、引き抜く。

④ストレーナを歯ブラシなどで掃除する。

⑤水抜栓を押し込んだ後、手で右にまわしてウォシュレット
本体側に確実に締めつける。

⑥止水栓を開けて、漏水がないことを確かめる。

凍結のおそれがある場合の処置

お客様に引渡しされるまでに凍結のおそれがあるときは漏水事故予防のため水抜きしてください。

水抜方法

①漏電保護プラグを抜き、止水栓を閉める。

②レバーハンドルを操作し、ロータンクの水を抜く。

③水抜栓の下に水受けを置く。

④連結ホースの水を抜く。
- 水抜栓を手で左にまわしてゆるめた後、引き抜いて水を抜いてください。
- 連結ホースを持ち上げて連結ホース管内の水を完全に抜いてください。

⑤温水タンクの水を抜く。
- 水抜きレバーを「開」位置に移動させ、温水タンクの水を抜いてください。
（水抜きレバーの操作はウォシュレット本体を便器に取り付けた状態で行ってください。）
- 温水タンクの水はノズル左側から便器内に出ます。
（約1ℓの水が出ます。水抜きは約2分で終わります。）

⑥水を抜き終わったら……
- 水抜きレバーを「閉」位置に移動させてください。
- 水抜栓を押込んだ後、手で右にまわしてウォシュレット本体側に確実に締めつけてください。

工事店様へ

取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。ウォシュレットの機能・使いかたについてお客様に説明してください。
新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、漏電保護プラグを抜いておいてください。